

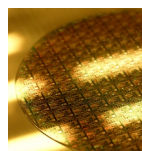
電子材料事業



上席執行役員
木村 徹

AIのさらなる発展と社会への浸透が進む中、それを支える先端半導体の進化を、私たちは材料開発と市場導入を通じて実現します。社会の進歩とJSR電子材料事業の成長が、共に動機づけ合う関係となることを目指します。

● 主要な製品の紹介



リソグラフィー材料



プロセス材料



ALD/
CVD材料



先端実装材料

● 強みと事業環境認識

事業の強み

- 製品展開力:リソグラフィー材料や洗浄材などを幅広く提供
- 統合型体制:開発から供給まで一貫運営
- 科学力と挑戦:多分野の知で革新を継続
- 先端品の開発力:EUVなど次世代材料を創出
- 成長への方針:既存と新分野で成長を加速

事業環境認識

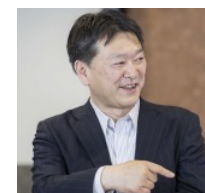
- 構造的成長:AI進展により、半導体需要が増加中
- 市場規模の拡大:2030年に140兆円超が見込まれる
- 製造要求の高度化:微細化で高精度管理が必須に
- 持続可能性の要請:環境配慮型製品への期待が増大
- 製品多様化の必要性:新技術に応じた材料開発が重要

● 2024年度の振り返り

2024年度は、前年の半導体市場の低迷を脱し、AI向け需要の高まりに牽引されて売上収益・利益ともに過去最高を記録しました。年初は低調でしたが、販売網の強化や製造能力の増強といった以前からの取り組みが実を結び、供給力や品質面で顧客の期待に応えることができました。

● 中長期の戦略

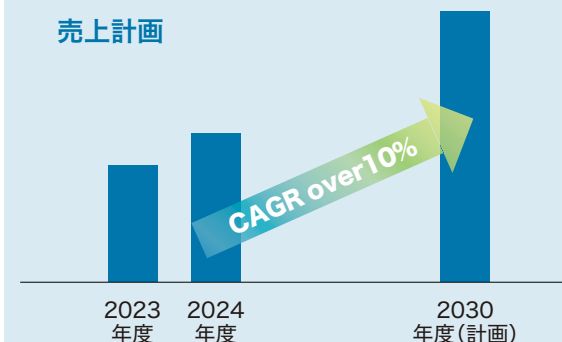
今後の5～10年を見据え、JSRは半導体材料領域において、製品領域の拡張と技術競争力の深化を通じた持続的成長を目指します。リソグラフィー材料を中心に、CMP、洗浄、実装、ALDなどの工程に対応する高機能材料を展開し、プロセスの複雑化、高度化に応えるソリューションを提供しています。次世代パッケージ材料やPFASフリー化学品^{*1}といった課題にも積極的に取り組んでいます。こうした先端材料の継続的な市場投入を支えるのは、市場に対する深い理解と、高分子化学にとどまらず理論・データ科学や有機・無機化学など幅広いサイエンスを常に更新し挑戦し続けている姿勢です。また、オングストローム精度やpptレベル^{*2}の不純物管理が求められる先端製造において、分



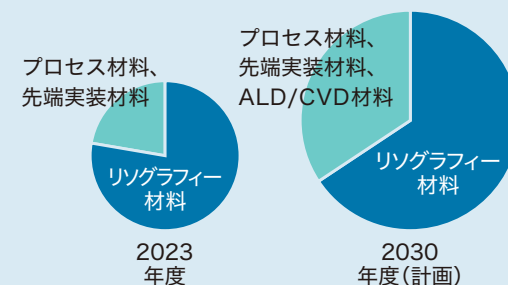
子設計から品質担保、製造、原材料の安定調達までを統合したバリューチェーンで、高信頼な供給体制を実現しています。半導体市場の活気を全社文化に昇華させ、コーポレート部門にも浸透させ、全社で事業を支える体制を築きます。

- *1 環境中に長く残り分解されにくい「PFAS（有機フッ素化合物）」を意図的に含んでいない化学品
- *2 濃度が1パート・パー・トリリオン（parts per trillion, 10のマイナス12乗）であることを指し、例えばとオリンピック公式プール約1,000個分の水に砂糖1粒を溶かした程度の極めて微量の濃度

売上計画



売上高構成



中長期での戦略・取り組みについて

● 成長戦略

半導体市場の進化を支える中核材料企業としての挑戦

当社が事業を展開する半導体市場は、AIを中心とした次世代技術の進展を背景に、データトラフィックの急拡大とともに構造的な成長を続けています。世界の半導体市場規模は2022年に60兆円を突破し、2030年には140兆円超に達するとの見通しが示されています。

JSRはこの成長市場において、リソグラフィー材料を中核とし、CMPスラリー、機能洗浄材、ヘテロロニアス・インターコネクトに対応する実装材料など、最先端製造に不可欠な高機能材料を幅広く提供しています。これにより、顧客のプロセス革新を支援しながら、当社自身の持続的な事業成長を実現しています。

さらに、微細化・複雑化が加速するデバイス製造の要求に応えるべく、プリカーサーや高機能基板材料といった新分野への展開を進めるとともに、製品ポートフォリオの高度化と技術的競争力の強化に注力しています。半導体製造では、オンゲストロームレベルの寸法精度やpptレベルの不純物管理といった極限の制御が求められます。これに応えるには、分子設計段階からの品質担保、高精度な製造・工程管理、原材料の選定・安定供給体制が不可欠であり、当社は研究開発から製造、品質保証、営業、調達、ロジスティクスまで一気通貫で統合されたバリューチェーンを構築しています。

こうした先端材料の継続的な市場投入を支えるのは、市場に対する深い理解と、高分子技術にとどまらず理論科学や分子設計など幅広いサイエンスを常に更新し挑戦し続けている姿勢です。

EUVレジストや感光性絶縁膜、さらには環境対応を見据えたPFASフリー材料といった先端製品の開発を通じ、顧客の期待と社会的要請の双方に応えています。

今後5～10年を見据え、当社は中核製品であるリソグラフィー材料、CMPスラリー、機能洗浄材、実装材料のグローバルシェア拡大と、新規分野であるプリカーサーや高機能基板材料の事業育成を両輪として、年平均10%以上の成長を目指します。

半導体市場のダイナミズムを全社の活力に転換し、事業・技術部門に加え、コーポレート部門も一体となって成長を支える体制を築いてまいります。

また、エネルギー効率化や環境負荷低減といったサステナビリティ課題にも真正面から取り組み、PFASフリー製品や、AIと人間の共存を支える高機能材料など、社会課題の解決に資する価値を創出していきます。JSRは「サイエンスによる価値創造」を基軸に、半導体産業の進化と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

